

Tobu通信

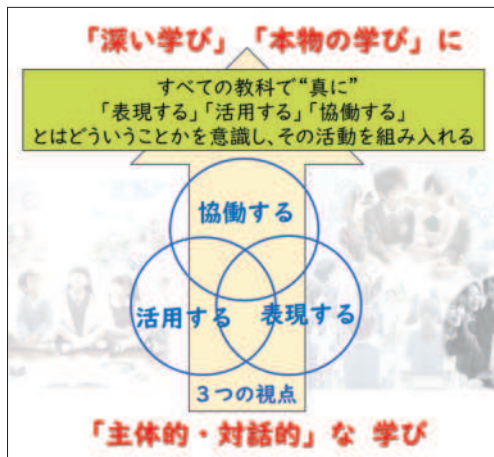
鳥取県教育委員会事務局
東部教育局
〒680-0061鳥取市立川町六丁目176番地
東教発 R 7. 9. 5 No.183
<https://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

授業の
ゴールイメージの
明確化

子どもたちがいきいきと 「表現する」「活用する」「協働する」授業づくりの推進を！

令和7年7月18日（金）、第1回東部地区指導主事等連絡協議会を開催しました。
東部地区共通の授業改善3つの視点（「表現する」「活用する」「協働する」）を
踏まえた授業づくりの評価（進捗状況）について、5市町の教育委員会事務局担当者
と東部教育局職員で意見交換し、今後の授業づくりについて協議をしました。

「深い学び」の
実現に向けて



グループワークやペア学習を、形だけ
に留めず、深い学びにつなげていきたい。

「深い学び」を
支える基盤とし
て、学級経営を大
切にしたい。



探究のプロセ
スも入れた授業
づくりが必要で
はないか。



つけるべ
き力を明確
にしたい。

標記の会での協議を踏まえ、東部教育局では、各市町教育委員会とともに「授業のゴールイメージの明確化」を一層意識し、「深い学び」「本物の学び」の実現に向け、引き続き、授業改善3つの視点（「表現する」「活用する」「協働する」）を踏まえた授業づくりを推進していきたいと考えています。後期学校訪問において、これらの視点でどのように授業づくりをされているかを参観させていただきます。

確かな学び

局長 蓮佛 俊敬

今年の夏も記録的な猛暑となりました。1980年ごろには、8月の猛暑日はわずか2日程度だったそうですが、今年は実に20日を超えたと報道されています。かつてはお盆を過ぎると、朝夕に涼しさを感じたものですが、今ではその感覚も薄れてしまいました。また、夏の風物詩であるセミの鳴き声も、今年はあまり耳に残らなかったように思います。高温や少雨の影響が指摘されていますが、これまで当たり前と思っていた季節の感覚が揺らぎ、時代の移ろいを改めて実感させられます。

「以前は…」「当時は…」という言葉は、ともすると煩わしく響くこともあり、話すことをためらうこともあります。しかし、今年は、もし昭和が続いていたなら昭和100年、そして戦後80年という節目の年にあたり、そのためか、テレビや新聞でも戦争や戦後の歩みを取り上げる報道が多くありました。戦争体験を直接語れる方が少なくなってきた今、戦争を過去のことでせず、平和の尊さをどのように次世代へ伝えていくのが、改めて問われていました。

そうした中で、広島平和記念式典で小学生が代表して読み上げた「平和への誓い」は、心を打つものでした。若い世代が自らの言葉で平和を願い、未来への決意を示す姿は、大きな勇気と希望を与えてくれました。同時に、その願いを大人がしっかりと受け止め、子どもたちに伝え続けていく責任の重さを痛感しました。

これまでも学校教育においては、平和学習をはじめ、子どもたちが健やかに学び、未来を切り拓いていくことを願い、大事にされてきた様々な教育があります。それらは、時代とともに揺らいだり、薄れたりしてはならない大切な学びです。確かな学力とともに、子どもたちにしっかりと身に付けていかなくてはならないと改めて感じているところです。

次のページへ続きます

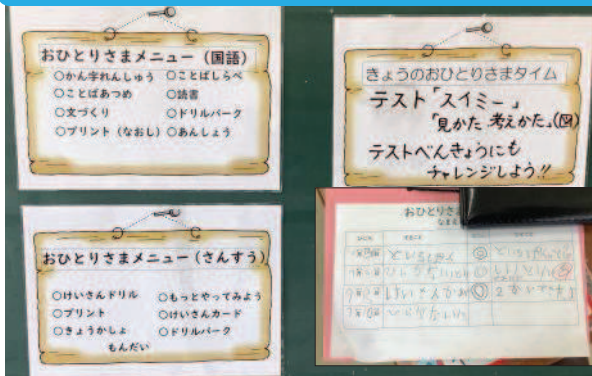
単位授業時間の 柔軟な設定

子どもの主体性を重視した教育活動へ ～鳥取市立世紀小学校実践紹介～

鳥取市立世紀小学校は、子どもたちに力をつけるために、午前中の40分授業×5コマで生み出した時間を使って、午後30分程度の「のびのびタイム」を帯時間で設定しています。「のびのびタイム」では、自分の良いところを伸ばすことや苦手を克服することに取り組んでいます。学校教育目標の実現に向けて、職員で話し合い、試行錯誤をしながら研究を推進している世紀小学校の実践を紹介します。

のびのびタイムの様子

低学年の取組「おひとりさまタイム」



1. こんな方法があるんだと知る。
2. もっとやってみようという意欲を持つ。
3. 次はどうしたらいいかを振り返る。

中学年の取組



1. 苦手を見つける。
2. めあてを決める。
3. 自分の課題を選択して取り組む。
4. 振り返り

5年生の取組



スプレッドシートを活用して、「のびのびタイム」のめあての設定と、振り返りを行っています。学び方についても振り返ります。共有されたスプレッドシートで他の児童の取組を参照し、自分の学びに生かしています。

6年生の取組「のびのびウォーキング」



1. 学び方のめあてを決める。
2. Myプラン（追求課題）を立てる（5分）
3. 予習を行う（15分）
4. のびのびウォーキング（1分）
5. 感想を伝え合う（1分）
6. アレンジ（5分）
7. 振り返り（3分）

算数の予習に力を入れています。のびのびウォーキングで感想の交流を行います。自己調整が図られ、自分たちで学ぶ習慣が身に付いてきました！

支援学級の取組

前日に「のびのびタイム」のめあてや内容を自分で決めて、国語や算数の学習に取り組み、集中力を高めています。

【「のびのびタイム」児童の感想より（一部抜粋）】

- 間違えたところをたくさん練習して、どんどん力がついていく感じがします。自分で選んでするのは楽しいです。（3年生）
- 自分でやり方や内容を選んで学習するので、次のテストにも生かすことができ、テストの点も上がりました。これから、今の学年だけでなく、前の学年で苦手だった社会の復習や、これからにつながる予習もしていきたいです。（5年生）
- 学びと学び方のめあてどおり、教科書や友達のノートを参考にしながら予習できたり、理解できたから、明日の授業で説明できるようにしたいです。（6年生）

東部地区においては、世紀小学校のように40分授業のさらなる充実を図るとともに、創出した余白の時間を活用し、子どもの学力や教育活動の質の向上につなげようとする学校があります。

各学校においても、自校の子ども「主体的に学び取る姿」とはどのような姿なのかということについて協議を重ね、学校教育目標や重点目標に基づくその姿の実現に向けて、目的や手段を明確にしながら、研究を推進していただければと思います。よろしくお願いいたします。